



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

パテック フィリップ ジュネーブ
Watches & Wonders Geneva 2025
2025年4月1日

パテック フィリップ、創造性と技術性を体現した15点の新作を発表

ジュネーブのマニュファクチュールパテック フィリップは、《Watches & Wonders Geneva 2025》の開催を機会に、その広範なコレクションのすべてのセグメントを強化する美しい新作の数々を発表する。とりわけ愛好家のための自動巻カドラブル・コンプリケーション、31日間のパワーリザーブを搭載した永久カレンダー・ウィークリー・カレンダー・デスククロック、瞬時送り式曜日・日付表示と8日間のパワーリザーブを搭載した新しいカトラバという3点の卓越したタイムピースに搭載された3つの新しいムーブメントが、最高の技術的レベルを立証している。この2025年新作はまた、時を超越したエレガンスと精緻な仕上がりのためめぬ探求を体現した、いくつかのモデルの美的な再解釈によっても際立っている。

アントワヌ・ノルベール・ド・パテックとジャン・アドリアン・フィリップは、各自の才能を組み合わせることにより、技術的にも美的にも《世界で最高の時計》を創作し製作するという野心的な使命を自らに課した。1932年以来4世代にわたりマニュファクチュールを主宰するスターン家にとってこの卓越性への情熱は合言葉であり続け、今日成長しつつある第5世代もまったく同じ使命を帯びている。それはムーブメントと外装のいずれの観点においてもブランドの永続性、独立性と大きな創造の可能性を保証することである。今春2025年に発表された15点の新作は、パテック フィリップ・シールのきわめて厳格な認定規準に準拠した、このユニークな伝統と革新の融合をいま一度立証している。

革新的なグランド・コンプリケーション

1839年の創業以来、パテック フィリップが他の追従を許さぬ領域のひとつであるグランド・コンプリケーションの技術・ノウハウに最初のフォーカスを当てよう。

2025年の今年、愛好家のための新しいカドラブル・コンプリケーション 5308G-001モデルが現行コレクションに登場する。2023年、ウォッチアート・グランド・エキシビション（東京2023）においてプラチナ仕様リミテッド・エディションが世界初公開されたこの自動巻タイムピースは、ミニット・リピーター、スプリット秒針クロノグラフ、瞬時日送り式窓表示永久カレンダーを統合している。搭載された新しいキャリバー R CHR 27 PS QIは、最適化されたパフォーマンスと、スプリット秒針機構における2件の技術特許で保護された技術革新で際立っている。この小型化とエネルギー制御の偉業は、アイスブルー・ソレイユの文字盤を配したホワイトゴールドのエレガントなケースに収められている。

パテック フィリップはまた、デスククロックの伝統を今日に蘇らせることにより驚きを与える。1920～1930年代のモデルからインスピレーションを得た新しいデスククロック 27000M-001モデルは永久カレンダーとウィークリー・カレンダーを搭載し、31日間のパワーリザーブ、日差±1秒の計時精度と21世紀の時計にふさわしい快適な操作性を誇る、まったく新しいハイパフォーマンスな手巻ムーブメント（9件の技術特許を出願中）によ

PATEK PHILIPPE SA GENEVE

Chemin du Pont-du-Centenaire 141 – 1228 Plan-les-Ouates

P.O. Box 2654 – CH – 1211 Geneva 2 – Switzerland

Tel. +41 22 884 20 20 – Fax +41 22 884 25 47 – www.patek.com



《報道資料》 ページ 2

り駆動されている。925シルバーのキャビネットは、手仕上げギョシエ装飾の渦巻模様を施した緑フランケ本七宝のパネルによって魅力を高められている。今回現行コレクションに収められるのに先立ち、このデスククロックは、ユニークピースのプレビュー・バージョンが製作され、2021年のオンリーウォッチ・チャリティーオークションに寄贈された。

レトログラード日付表示針を備えた永久カレンダーは、パテック フィリップの最も追い求められるモデルのひとつである。マニュファクチュール パテック フィリップは、この伝統的なグランド・コンプリケーションを、独創的で現代的なスタイルの新しいホワイトゴールド・バージョンにより再解釈した。ムーブメントを垣間見せる、グレー・メタライズ・サファイヤクリスタル文字盤を備えている。ベゼルにはパテック フィリップ・スタイルの最も美しいエンブレムのひとつである著名なギョシエ装飾クルー・ド・パリ（ホブネイル）モチーフが施されている。このレトログラード日付表示針付永久カレンダー 6159G-001モデルの心臓部では自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 S QRが脈動しており、サファイヤクリスタル・バックを通して鑑賞することができる。

もうひとつのフラッグシップ・モデルであるスプリット秒針クロノグラフ 5370モデルは、ベージュ・シャンルヴェ七宝のサブダイヤルとタキメーター目盛を配したブラウン本七宝文字盤による、最初のローズゴールド・バージョンとなって登場する。搭載されたキャリバー CHR 29-535 PSには、伝統的なアーキテクチャー（手巻、コラムホイール、歯車による水平クラッチ）と、スプリット秒針機構に関する1件を含む7件の技術特許に代表される技術革新が融合されている。この新しいスプリット秒針クロノグラフ 5370R-001モデルはブリリアント・ダークチェストナットのアリゲーター・バンドを備え、コレクションのいくつかのモデルで今年登場する特許取得の新しい3ブレード折り畳み式バックルを装着している。

Twenty~4コレクションに永久カレンダーを搭載した最初のコンプリケーション・モデルが登場したことは、グランド・コンプリケーションを愛する女性たちにとっての今ひとつの大きな驚きであろう。超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 240 Qにより、ケースはエレガントな薄さを保持している。カレンダーは3つのサブダイヤルに指針表示され、これにムーンフェイズ表示窓が加わる。これはパテック フィリップの永久カレンダー中、最も特徴的な文字盤構成となっている。宝石をセッティングしない最初のラウンド型Twenty~4でもあるこの永久カレンダー・モデルは、2つのローズゴールド・バージョンがラインナップされる。ひとつは山東絹を思わせる縦横の二重のサテン仕上げが施されたシルバー文字盤の7340/1R-001モデル、もうひとつはモダンで洗練されたオリーブグリーン・ソレイユの文字盤を備えた7340/1R-010モデルである。

毎日の生活に有用なコンプリケーションの幅広いレパートリー

マニュファクチュール パテック フィリップはまた、当社が卓越した評価を受けている毎日の生活に有用なコンプリケーションのレパートリーもさらに充実させた。カレンダーウォッチ、トラベルウォッチなど、いずれも最高の使い心地と読みやすさを提供する機構を備えている。

2025年、この分野では、6時位置に瞬時送り式曜日表示（表示窓）と日付表示（指針）、12時位置に8日間にもおよぶパワーリザーブ表示を行う、カラトラバ8日巻5328G-001モデルが格別な地位を占めている。新しい手巻ムーブメント、キャリバー 31-505 8J PS IRM CI Jは、クラシックなアーキテクチャーとSilinvar®製のPulsomax®脱進機（アンクルとガンギ車）など多くの技術革新を組み合わせている。直列に連結された2つの香



《報道資料》 ページ 3

箱（主ぜんまい）が8日間にわたって完璧にムーブメントの正確な作動を保証し、9日目が予備日として設けられている。現代的な造形美を誇るこのタイムピースは、側面がギョシェ装飾クルー・ド・パリ（ホブネイル）モチーフで装飾されたホワイトゴールド・ケースに、垂直の軸に沿った独創的で読みやすい表示を特徴とするブルー文字盤を組み合わせている。

1996年にパテック フィリップによって発明され、特許を取得した著名な年次カレンダーには、すべての手首にフィットする、直径38 mmの初めての宝石をセッティングしない新しいローズゴールド・モデルが登場する。ローズゴールドの温かみのある輝きが、山東の絹織物を連想させる縦横サテン仕上げを施したチェストナット文字盤、およびデニム柄のチェストナット・カーフスキン・バンドと組み合わせられている。この4946R-001モデルは、曜日、日付、月を表示し、一年に一回、2月の月末にのみ日付調整が必要な年次カレンダーを搭載した自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 S QA LUを搭載している。

航空界からインスピレーションを得た、もうひとつの大きな成功を収めるカラトラバ・パイロット・トラベルタイムを再解釈し、パテック フィリップは、エレガントなヴィンテージ・タッチのラック・アイボリー文字盤とファブリック柄カーキグリーン・コンポジット・バンドを備えたホワイトゴールドの5524G-010モデルを発表する。この個性的でエレガントなトラベルウォッチは、使いやすい第2タイムゾーン表示システムが特徴の自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 S C FUSを搭載している。6時位置の日付指針表示は、前進、後退いずれの方向にも自動的に現地時刻に同期される。2つのタイムゾーン調整プッシュボタンは、現地時刻の偶発的な変更を防ぐために設計された特許取得のねじ込み式セキュリティー・システムを備えている。

スタイルとエレガンスの新しいバリエーション

見事なデザインが最小のディテールに至るまで完璧に仕上げられた、シンプルな腕時計のレパートリーもますます豊かなものとなっている。

時を超越したエレガンスの真髄であるカラトラバ・コレクションに、ヴィンテージ・タッチのピュアなデザインのローズゴールドめっきオパール文字盤を備えたプラチナ仕様のニューモデルが登場する。このカラトラバ 6196P-001モデルは、ポリッシュ仕上げのケース、サテン仕上げの側面、ベベルカットされた滑らかなベゼル、ブリリアント・チョコレートブラウンのアリゲーター・バンドとのスムーズなつながりを可能にするスリムなラグが特徴である。時間のリズムは、スリムなプロフィールと65時間のパワーリザーブを誇り、秒単位の正確な時刻合わせを可能にするストップ・セコンド機能を備えた手巻ムーブメント、キャリバー 30-255 PSによって刻まれている。

2024年10月にパテック フィリップによって発表された《カジュアル・エレガンス》スタイルの革新的な表現であるCubitusコレクションに、すべての手首にフィットする直径40 mmの2つの新しいミディアムサイズ・バージョンが登場する。ブルーグレー・ソレイユ文字盤を備えたホワイトゴールドのCubitus 7128/1G-001モデル、およびブラウン・ソレイユ文字盤を備えたローズゴールドのCubitus 7128/1R-001モデルである。ケースのまったく新しいジオメトリーは、スクエア型のフォルム、丸みを帯びた角とエレガントなプロフィールを特徴とし、ポリッシュ仕上げと縦サテン仕上げのコントラストによって強調されている。ストップ・セコンド機能を備えた自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 S Cは、Cubitusコレクションのシグナチャーともいえる文字盤と同じ



《報道資料》 ページ 4

水平のエンボス・パターンが施された21金ゴールド中央ローターを備えている。ゴールド・ブレスレットは快適さを保証するロック可能な調整システム、および独立した4つの止め金により安全性を高めた特許取得のパテック フィリップ折り畳み式バックルを備えている。

パテック フィリップは、クォーツ・ムーブメント、直径32 mmのホワイトゴールド・ケースを備えた婦人用ノーチラスの2点の新しいバージョンにおいて、独自のカラー選択を行った。コレクション特有の繊細な《波形》模様で装飾された文字盤には、エレガントなアズールブルーのラック仕上げが施されている。ケースは、ポリッシュとサテン仕上げが交互に施されているのが特徴である。ベゼルには46個のブリリアントカット・ダイヤモンド（0.8カラット）が輝いている。婦人用ノーチラス7010G-013モデルは、文字盤の色合いにマッチしたファブリック柄のコンポジット・バンドとホワイトゴールド・ノーチラス折り畳み式バックルを備えている。一方婦人用ノーチラス7010/1G-013モデルは、快適さを保証するロック可能な調整システムと独立した4つの止め金により安全性を高めた特許取得のパテック フィリップ折り畳み式バックルを備えたホワイトゴールド・ブレスレットを装着している。

パテック フィリップの新しいノーチラス・ハイジュエリー 5811/1460G-001モデルは、ジュエリーの技術・ノウハウと創造性を見事に体現した傑作である。デザイナーは、ノーチラスの象徴的なデザインを強調するために貴石のカットを巧みに使用した。丸みを帯びた八角形ベゼルにはバゲットカット・ダイヤモンド、文字盤にはブリリアントカット・ダイヤモンドが並んでいる。ブレスレットの中央リンクにはバゲットカット・ダイヤモンド、両側リンクには通常のようにブリリアントカット・ダイヤモンドがセッティングされている。このタイムピースは、合計1,285個のブリリアントカット・ダイヤモンド（6.43カラット）と195個のバゲットカット・ダイヤモンド（13.27カラット）をセッティングしている。この象徴的モデルのハイジュエリー・バージョンは、ストップ・セコンド機能を備えた自動巻ムーブメント、キャリバー 26-330 Sを搭載している。

希少なハンドクラフトの豊穡なコレクション

例年と同じく、今年もパテック フィリップはユニークピースまたは限定製作の見事な希少なハンドクラフト・コレクション（ドーム・テーブルクロック、デスククロック、懐中時計、腕時計）を発表し、七宝細密画、クロワゾネ本七宝、手彫金、木象嵌など、最も洗練された希少なハンドクラフト技術にスポットライトを当てる。これら78点の作品を一般公開する展示会《希少なハンドクラフト2025》は、日曜日を除く2025年4月5日から26日までの午前11時から午後6時（最終入場は午後5時）まで、ジュネーブ・ロース通り41番地のパテック フィリップ・サロンで開催される。見学者は、事前に当社ウェブサイト（<https://www.patek.com/rhc2025>）で2025年3月24日からオンライン登録を行うことが推奨されている。



《報道資料》 ページ 5

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電 話：03 - 5209 - 8018 (直通)

F A X：03 - 3256 - 7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>

